

## 漂流死体 (1959)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 日本

色彩 B&amp;W

時間 86分

初公開日 1959/05/13

公開情報 東映

## 【解説】

白石浩三によるオリジナル脚本を「獣の通る」の関川秀雄が監督した犯罪ドラマ。撮影は「獣の通る道」の仲沢半次郎、音楽は「警視庁物語 顔のない女」の富田勲。「キクとイサム」の三國連太郎扮する新聞記者が、横浜を舞台に犯罪を追う姿をセミドキュメンタリータッチで描く。

毎朝新報横浜支社に勤める新聞記者の永瀬一郎は、後輩の渡辺から米兵ロバーツが脱走したと聞かされる。神奈川県警の佐々木刑事らが動いていることから、永瀬は事件性が高いと判断し調査を開始。ロバーツの背後には大陸関係をめぐる密輸犯罪が隠されていた。だがその矢先、佐々木刑事の惨殺死体が発見され、さらにロバーツの水死体が見つかった。ついに米国側から捜査の打ち切りが要請され、日本の警察は動きを封じられてしまう。永瀬は山中記者の協力を得て、佐々木刑事殺害時に目撃されたキャバレー経営者の黒崎に目を付けるのだったが…。

## 【クレジット】

監督 関川秀雄

企画 斎藤安代

脚本 白石浩三

撮影 仲沢半次郎

美術 森幹男

音楽 富田勲

出演 三國連太郎

高倉健

南廣

堀雄二

加藤嘉

小沢栄太郎

小宮光江

月丘千秋

河野秋武

神田隆